

# ダイヤモンド就活ナビ2020 就職モニターレポート5月調査

## 【調査概要】

- ◆調査対象 2020年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 264名
- ◆調査期間 2019年5月9日（木）～2019年5月16日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

## 【回答学生の内訳】

文系	214名 (71.8%)	理系	84名 (28.2%)
----	-----------------	----	----------------

## 【回答の多かった学生】

中央大学、慶応義塾大学、明治大学、  
日本大学、専修大学、早稲田大学、  
関西学院大学、明治学院大学、  
立教大学、國學院大学、神戸大学、  
大阪大学、上智大学、東京理科大学

## 【大学エリア別回答学生数】

北海道	30名	10.1%
東北エリア	6名	2.0%
関東エリア	144名	48.3%
甲信越エリア	6名	2.0%
東海・北陸エリア	22名	7.4%
関西エリア	48名	16.1%
中国・四国エリア	32名	10.7%
九州・沖縄エリア	10名	3.4%

## ◆TOPICS◆

### <就職活動の進行状況>

5月中旬時点で「内定獲得」は44.3%。内定獲得者のうち46.9%が複数内定を獲得。「リクルーターとの接触あり」と31.7%の学生が回答。接触機会は「ES提出後」がトップだが、より早いタイミングの「インターンシップに応募したら」「3/1以降、プレエントリー後」が、前年より10ポイント以上伸ばしている。

### <企業選択の基準>

セミナー・説明会への参加きっかけは1位「就職サイト」、2位「学外セミナー」、3位「学内セミナー」、4位「インターンシップ参加」。  
企業特徴については「仕事の魅力」「社風」に次いで「賃金・労働条件」が3位に。

### <就職活動観>

就活環境について、33.8%が「楽観視」している。  
今抱える悩み（不安）は、「内定を得たので、就活を終了するかどうか」が55.1%でトップに。昨年1位の「就職できるかどうか不安」は12.8%に留まる。

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社  
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

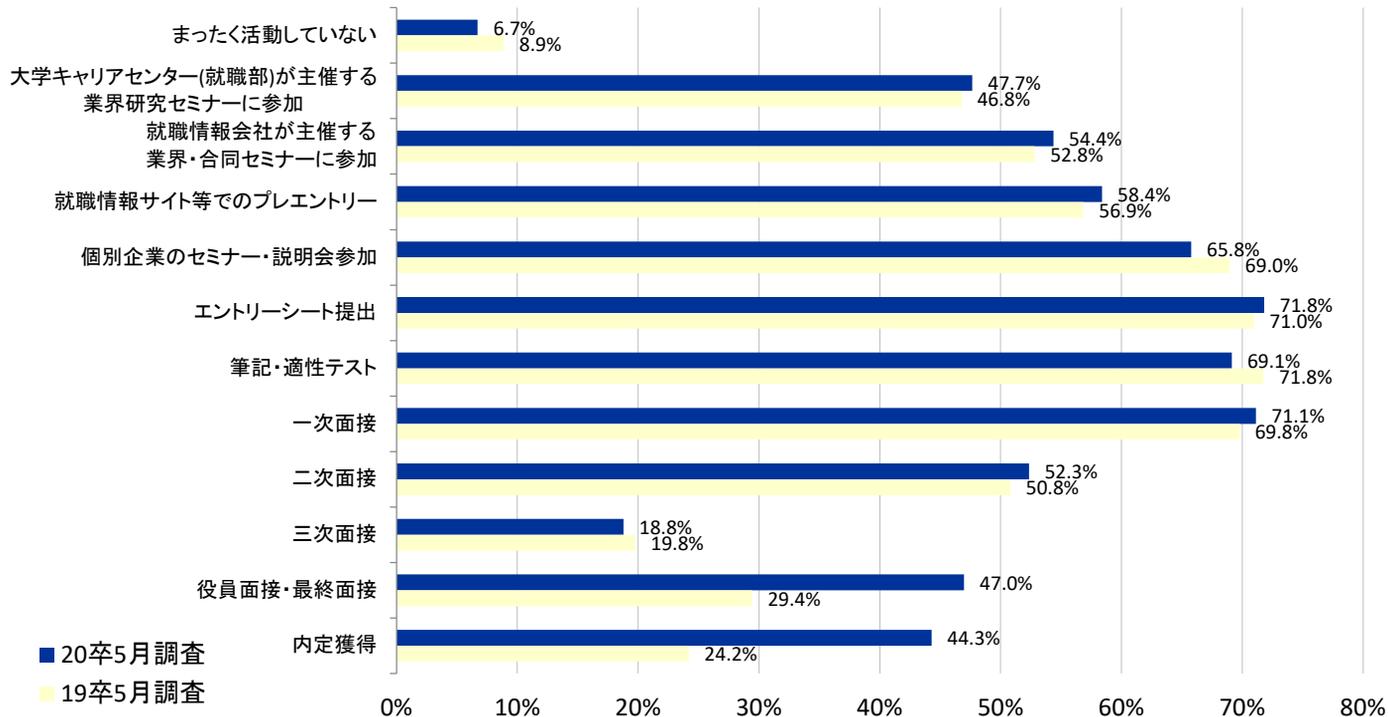
営業局 首都圏営業部

TEL : 03-5319-2452

E-mail : [marketing@diamondhr.co.jp](mailto:marketing@diamondhr.co.jp)

## 就職活動進行状況 (1)

◆【前月比較】現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください

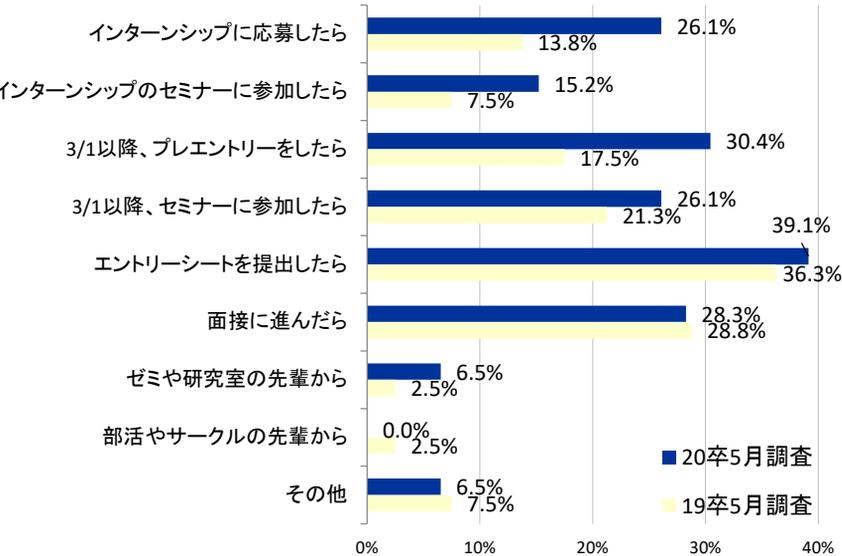


「役員・最終面接」が47.0%、「内定獲得」は44.3%。  
19卒同時期調査から2倍近い伸びに。

就職活動の進行状況は19卒5月調査と比べ、「合同企業セミナーへの参加」「プレエントリー」「個別企業のセミナー・説明会参加」といった選考初期のフェーズが減り、「一次面接」以降の直接選考が大きく伸びる結果となった。特に「役員面接・最終面接」については20卒5月調査で47.0%と、前年19卒5月調査から+17.6ポイント、「内定獲得」については20卒5月調査で44.3%と、前年の19卒5月調査の24.2%から2倍近い伸びとなっている。6月の採用選考解禁を前に、企業・学生の積極的な活動状況がうかがえる。

進行状況	20卒平均	19卒平均
大学キャリアセンター主催セミナー	3.6回	4.0回
就職情報会社主催セミナー	5.3回	4.6回
プレエントリー	32.9社	34.8社
個別企業のセミナー・説明会参加	14.1社	14.6社
エントリーシート提出	12.2社	14.0社
筆記・適性テスト	8.8社	8.9社
一次面接	6.0社	5.9社
二次面接	3.3社	3.1社
三次面接	2.1社	1.6社
役員面接・最終面接	1.8社	1.9社
内定獲得	1.9社	1.8社

### ◆リクルーターとの接触状況



#### ◆リクルーターの接触

【20卒】 あり：31.7% / なし：68.3%  
【19卒】 あり：29.5% / なし：70.5%

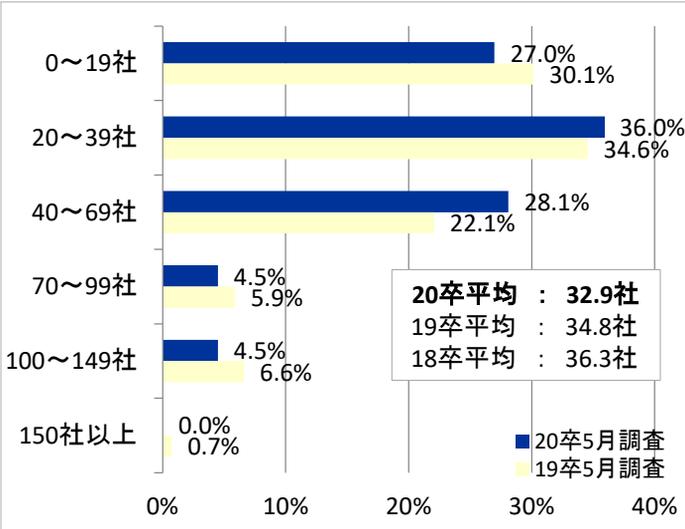
31.7%の学生が「リクルーターとの接触あり」と回答。  
接触機会は「ES提出後」がトップ。

リクルーターから接触があった学生は31.7%と、約3人に1人がリクルーターと接している結果となった。

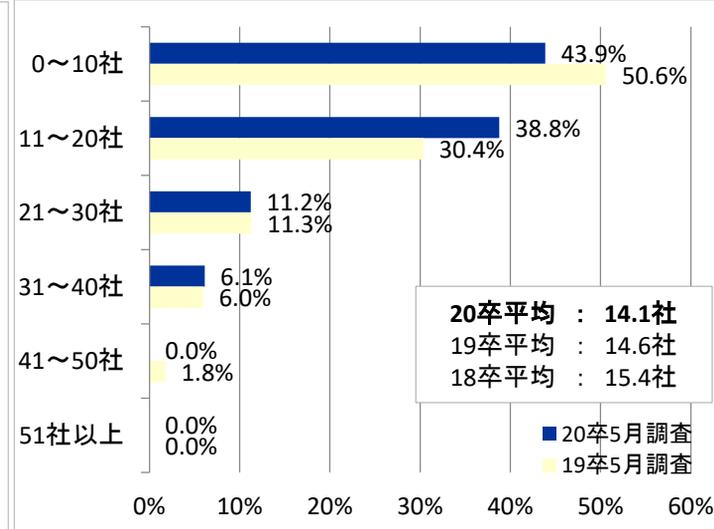
連絡が来た経緯は「エントリーシートを提出したら」が39.1%でトップ。「3/1以降、プレエントリーをしたら」が30.4%、「インターンシップに応募したら」が26.1%とそれぞれ前年より10ポイント以上伸びている点だ。各社の早期接触を図ろうとする姿勢が垣間見られる。

## 就職活動進行状況 (2)

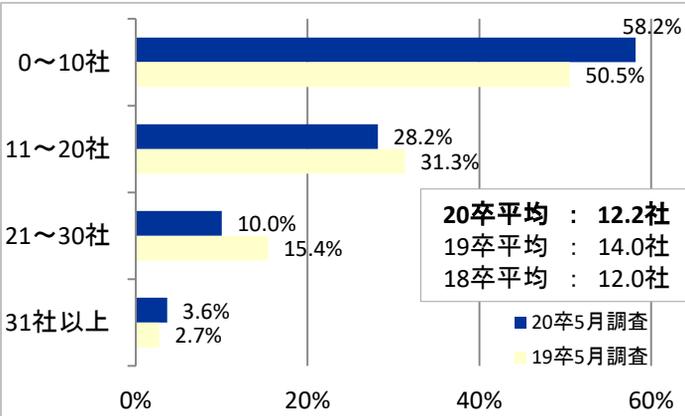
### ◆就職情報サイト等でのプレエントリー数



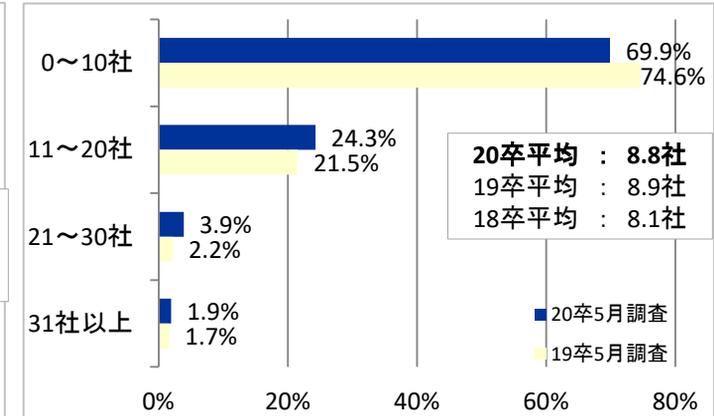
### ◆個別企業のセミナー・説明会参加数



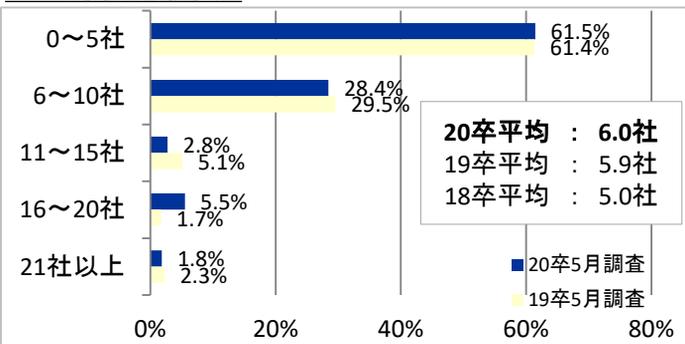
### ◆エントリーシート提出社数



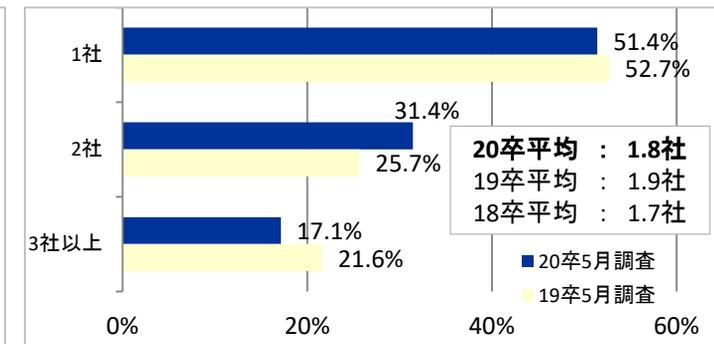
### ◆筆記・適性テスト受験社数



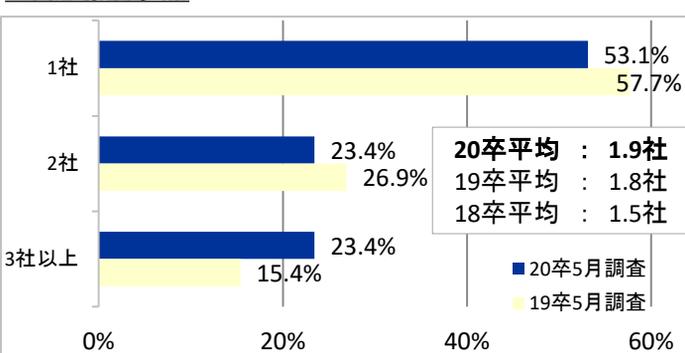
### ◆一次面接受験社数



### ◆役員面接・最終面接受験社数



### ◆内定獲得社数



平均エントリー数は32.9社と前年比▲1.9社。  
セミナー参加、ES提出と共に減少傾向。  
内定獲得者のうち46.9%が複数内定を獲得。

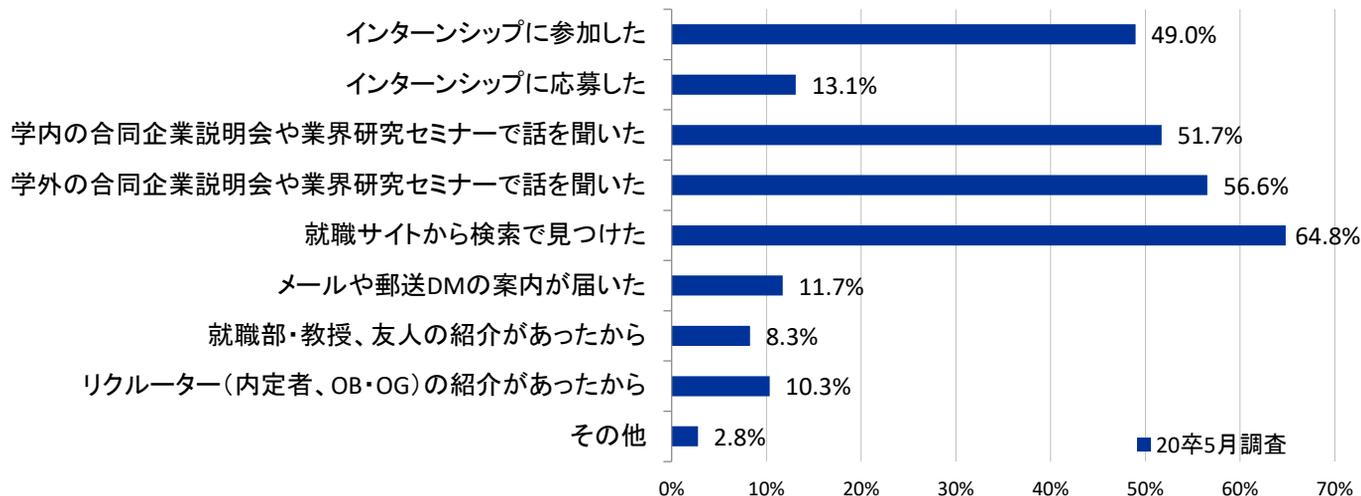
学生一人当たりのエントリー社数は32.9社となった。「個別企業のセミナー・説明会参加」「ES提出」と共に今年も減少傾向が見られた。

反面エントリーシート提出以降のフェーズではいずれもほぼ例年通りの推移。

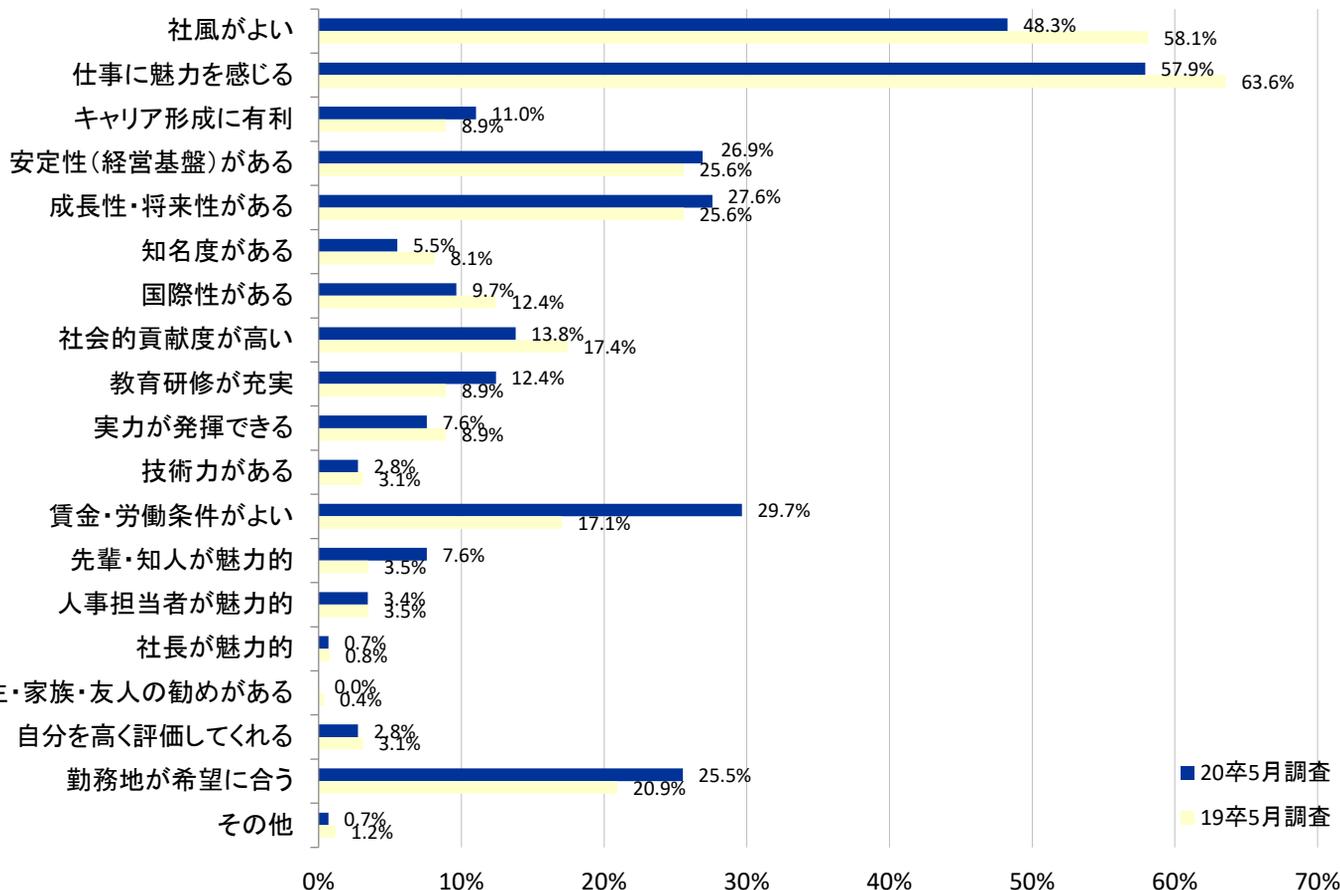
「内定獲得」は平均1.9社、内定獲得者のうち2社以上の複数内定獲得は半数に迫る46.9%となった。

## 企業選択の基準

### ◆個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？



### ◆企業選択で重視するポイントを教えてください（3つまで）



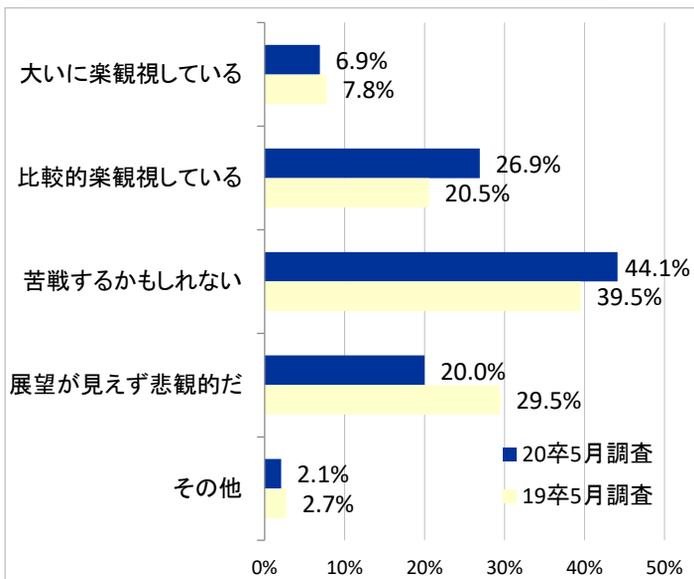
個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは、1位「就職サイト」2位「学外の合同セミナー」。「インターンシップ参加」が49.0%にも注目。

個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけについて、「就職サイトの検索」が64.8%でトップになった。それに「学外・学内の合同企業説明会、業界研究セミナー」が付いている。49.0%が「インターンシップに参加した」と答えており、早期接触機会が参加きっかけに繋がっている状況にも注目したい。

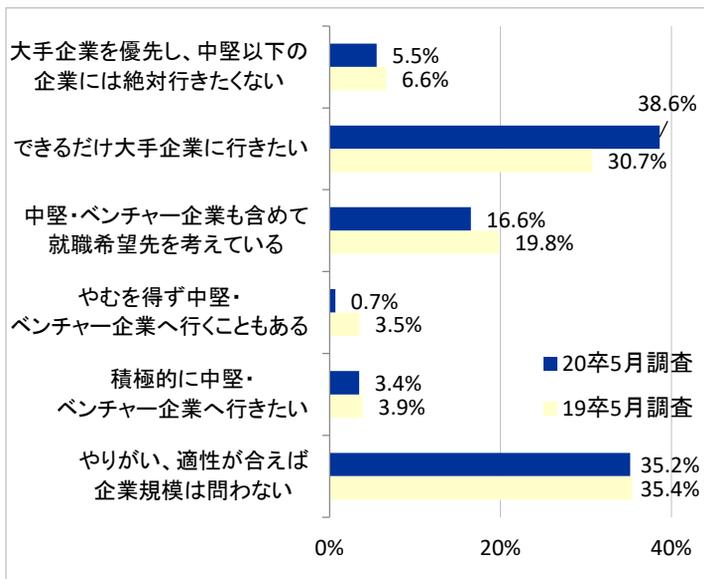
企業選択時のポイントは「仕事に魅力」（57.9%）、「社風が良い」（48.3%）が圧倒的に多いのは例年と変わらないが、それぞれポイントを落としている。反面、大きくポイントを伸ばしたのは、3位につけた「賃金・労働条件がよい」だ。昨年から12.6ポイント伸ばし、29.7%となっている。仕事・社風の魅力と、労働条件のバランスが求められるようだ。

# 就職活動観

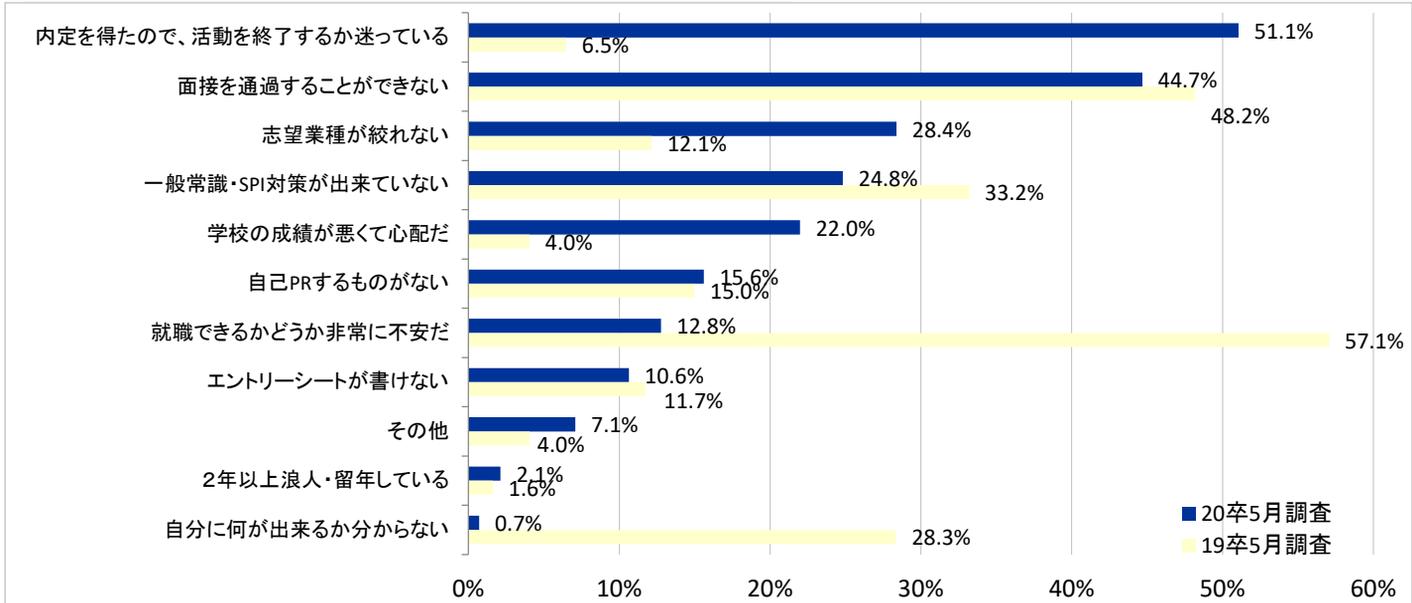
## ◆就職活動環境についての感想をお答えください



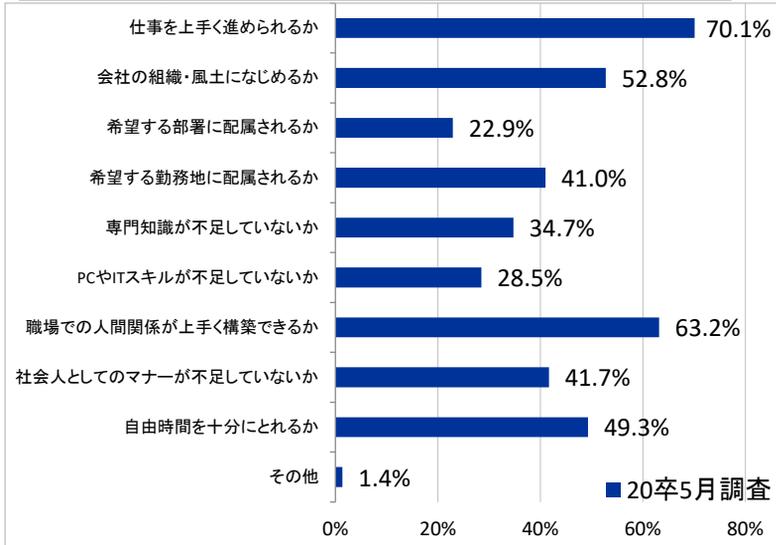
## ◆どんな企業に入社したいと思いますか？



## ◆今、抱えている悩み(不安)をお選びください(複数選択可)



## ◆社会人になるにあたって不安はなんですか(複数選択可)



就活環境について「苦戦するかもしれない」が44.1%でトップに。約3割は「楽観視」。悩み(不安)の1位は「内定を得たので就活を終了するか」(55.1%)。

就職活動環境について「大いに楽観視」「比較的楽観視」していると答えたのが33.8%となった。反対に「悲観的」と答えたのは20.0%と、前年よりも9.5ポイント減少している。

入社希望の企業規模については「絶対大手」「できるだけ大手」が44.1%と、昨年より6.8ポイント増。大手志向が強まっている様子だ。

今抱えている悩み(不安)では「内定を得たので就活を終了するか」が51.1%と昨年の6.5%から飛躍的な伸びだ。それだけ企業・学生の積極的な姿勢がうかがえる。反面「就職できるかどうか不安」は12.8%と、前年より大幅減の結果となった。